

2019筑波ツーリスト・トロフィー in JULY

公式通知 No. 2

JASC
J.A.S.C. Foundation

2019年 7月 2日

主催：一般財団法人日本オートスポーツセンター (JASC)

【注意事項 及び お知らせ】

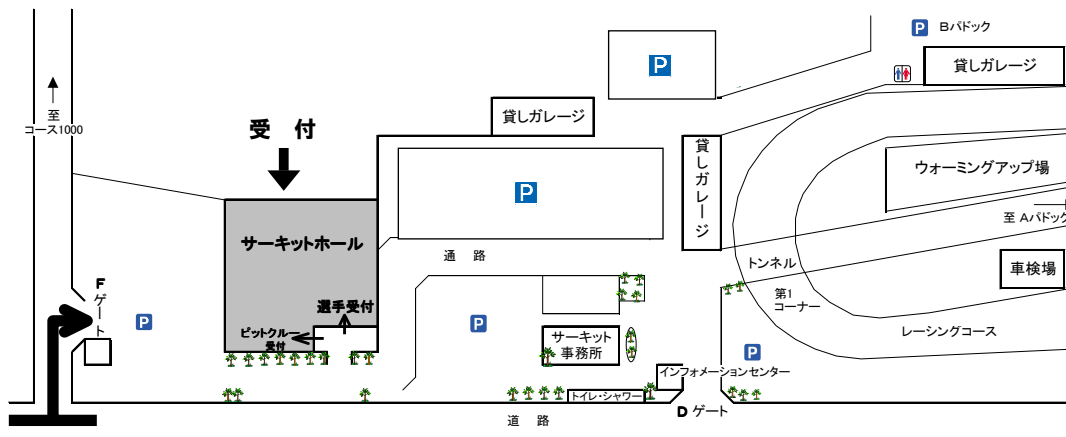
- ・ピットレーンの制限スピードが40km/h以下となっております。ご注意ください。
- ・オイル・液体漏れは、自分だけでなく周りに多大なる悪影響をもたらします。今一度ご確認を！
- ・最終コーナー立ち上がり左側、赤白縁石外側の退避レーン（緑色の部分）は、走行時の転倒や接触を防ぐ為の緊急回避スペースとなり、原則通常走行レーンとしての使用は認められていません。これに違反した場合は、罰則の対象となる場合がございますのでご注意ください。また、一度路側帯へ出た車両がコースに戻る際の接触事故が発生しています。コース復帰の際は、細心の注意を払うようお願いいたします。
- ・フラッグの意味、ルールマナー等を順守し、走行中の接触、危険行為等が無いよう、常に周囲の状況把握に努めましょう。

1. 駐車場

トランスポーターには必ず駐車券を掲示して入場すること。それ以外は一般駐車場(有料)に駐車すること。

2. ライダー受付 (筑波サーキットホール)

- (1) 時間：タイムスケジュール参照 (公式車検の時間の早いクラスを優先して受付を行う。)
- (2) 提示物：①2019MFJ競技ライセンス(提示できない者は理由の如何に関わらず参加できない。)※Frontier2は当該出場クラス区分の証明ができる物
②参加受理書 ③車両仕様書 (無記入の車両仕様書では受付できない) ※健康保険証は、各自必ず所持すること。



3. ピットクルー受付

- (1) 受付は選手受付と同じ時間帯で行う。2019MFJピットクルーライセンスを必ず持参すること。
※MFJライセンスのないピットクルーをエントリー時に登録した場合は、本人であることが判る物(運転免許証等)を持参すること。
- (2) ピットクルーのパスは受理書に同封する。ピットクルー受付を済ませていなかったり、ピットクルーとして登録されていない人がパスを使用するなど、不正が発覚した場合には、その当該ライダーとピットクルーに罰則が科せられ、次回以降の大会に参加できない。※ピットクルー受付にて本人確認済みのスタンプが押されたパスのみが有効となる。
配布されたパスは、常に見える位置に装着すること。
- (3) ピットクルーの変更がある場合は、必ずピットクルー受付時に変更を申し出ること。
変更料は、MFJライセンス所持者は、1名につき1,000円、ライセンスが無い者は1名につき2,000円とする。
- (4) ピットクルーの追加は、保険の関係上できない。
- (5) 事前販売したパスではピットレーン、スターティンググリッドへの入場はできない。

4. ウォーミングアップエリア

ウォーミングアップ場の使用は、AM7:20からとする。入場できるのはライダーおよびピットクルーに限られ、安全上適切な服装をすること。また、暫定表彰式などの理由によりエンジンを停止させることがあるので、随時オフィシャルの指示に従うこと。尚、エントラント駐車場、ガレージではエンジン始動できないので注意すること。

5. 公式車両検査

- (1) 時間：別紙タイムスケジュール参照
- (2) 場所：Aパドック内車検場
- (3) 提示物：①参加車両 ②車両仕様書 (受付印済みのもの)
③ヘルメット・ヘルメットリムーバー・レーシングスーツ・グローブ・ブーツ・脊柱プロテクション・胸部プロテクション

- (4) アンダーカウル付きの車両は取り外した状態で車検を受け、外したアンダーカウルも持参すること。
- (5) センタースタンド・サイドスタンドは、必ず取り外すこと。
- (6) 車載カメラの搭載を希望する場合には、車両仕様書の申請欄に署名し、事務局確認印を得ること（2台目以降のカメラ取り付けは有料）。また、カメラを搭載した状態で車検を受けること。カメラはカウル内に収めるなどし突起物となってはならない。走行中に脱落した場合には罰則（罰金を含む）を科す場合がある。
- (7) トランスポンダーを搭載した状態で車両を持ち込むこと。取り付け場所は、メインフレームピポッドシャフト付近とする。
（トランスポンダー及び取付けホルダーの破損、紛失については、実費をお支払い頂きます。本体（税込）：50,000円/ホルダー（税込）：1,000円）
- (8) 車検に合格すると、車検合格ステッカーがマシンに貼付けられる。ステッカーが無い場合には出走できない。
- (9) 車検時に申告した内容（装備を含む）に変更がある場合には、必ずその内容について車検長に申告し再車検を受けること。

6. ビットボックスの使用について

- (1) 走行クラスごとに使用するビットボックスの割り当てを行う。各自、Web エントリーマイページもしくは郵送書類にて確認すること。
- (2) ビットボックスを使用できるのは、予選・決勝を通じて行われているその当該クラスのチーム、ライダー、ビットクルーとする。
- (3) ビットボックスを使用できる時間は、その走行している時間とし、その前後10分を目安に入れ替えを行う。走行終了後は速やかに次のクラスが使用できるようにすること。
- (4) 上記で使用している時間以外、ビットボックス内にマシン・工具・荷物等を置いておくことは禁止される。
※割り当てのない、1～9番ビットボックス内も、マシン・工具・荷物等を置いての占有は禁止される。

7. コースイン・コースアウトの補足

- (1) 予選のコースインは、コントロールタワー脇Bゲートに加え、ビットボックス開口部よりマシンをビット前作業エリア（黄線よりビットボックス側）に入れることができる。他クラスの予選中はビット前作業エリアにマシンを入れることはできない。ビットエリアにマシンを入れるタイミングはオフィシャルの指示に従うこと。尚、スタート前チェックエリアは各予選10分前より準備スペースとして使用することはできない。また、予選時間内であればトラブルなど特別な理由の場合は、ビットボックスおよびパドックに入った後もコースに復帰できる。
※予選終了後は、Cゲート（ビットレーンエンド）からコースアウトすること（直接ビットボックスに入ることはできない）。
- (2) 決勝レースのコースインは、Aゲート（最終コーナー側）より行い、コースアウトは、Cゲート（ビットレーンエンド側）より行う。

8. ビットレーン先端（ビット前）シグナルライトについて

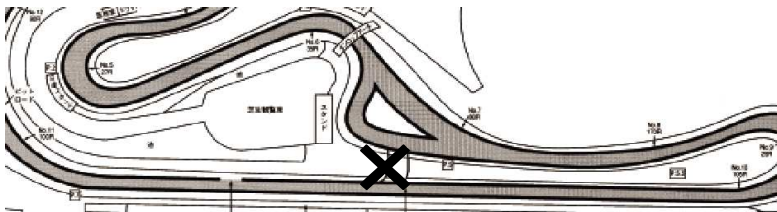
ビットレーン先端のシグナルライトは、緑（コースイン可）、赤（コースイン不可）となる。無灯の場合は、緑灯と同様に扱う。また、公式予選またはレース中は常にビットレーン出口で青ライトが点滅される。

ビットレーンでは十分減速すると共に、コースインは走行車両との合流に対し最大限の注意を払い、各自の責任において行うこと（第1ヘアピンをクリアするまでコースの右側を走ること）。

9. ビットレーン走行時の注意事項

ビットレーンでの違反は重大な事故につながる場合がある。ビットインの際は周りに十分に気を配り、スピードを落とし常に停止できる状態で走行すること。尚、ビットレーンの制限スピードは40km/h以下とし、違反した場合には罰則が科せられる。また、サインマンおよびビットインした当該車両のメカニック以外はビットレーンに出るはならない。従わない場合にはその当該ライダーに罰則が科せられる。

10. 予選・決勝を通してショートカットの使用は禁止される。使用した場合にはペナルティが科せられる。



11. 出走喚願書/リタイヤ届について

- (1) 出走喚願を希望するライダーは、予選暫定結果発表後30分以内に出走喚願書を大会事務局（サービスセンター2F）に提出しなければならない。但し、予選に出走していないライダーの出走喚願は受け付けられない場合がある。
- (2) 申請された書類に対し、決勝レースへの出走の可否が審査委員会にて審議される。その結果はグリッド表にて発表する。（すなわち、グリッド表に名前が記載されていたら出走可能となる。）
尚、グリッド表は予選暫定結果発表後30分以上を経過した後に発表される。
- (3) 決勝レースに出場できないライダーは、必ずリタイヤ届を大会事務局まで提出しなければならない。

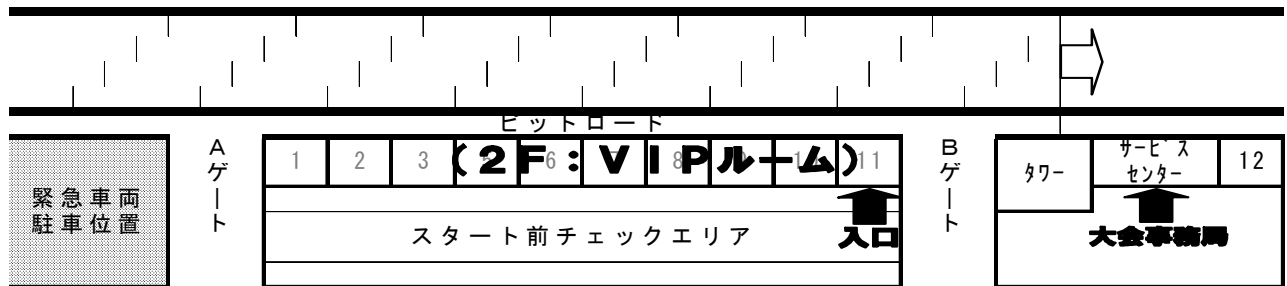
12. 決勝スタート前チェック

- (1) 決勝スタート前チェックは、スタート予定時間の25分前に開始し、11分前に終了する。
尚、時間内に届出または、連絡のないそのライダーはオフィシャルの判断によりリタイヤとみなされる。
- (2) スタート前チェックを済ませたあと、マシンをその場所から移動させてはならない。
- (3) 同時にヘルメットチェックを行うので、必ずヘルメットをスタート前チェック時に持参すること。

13. ブリーフィングについて

ブリーフィングをVIPルームにて行う。決勝レースの進行方法、注意事項、最終的な重要事項の確認を行うので、開始時間前に必ず集合すること。**出席しなかった場合は、罰則が科せられる。(欠席：5,000円 / 遅刻：2,500円)**

※複数クラスにエントリーし、タイムスケジュールの都合でブリーフィングに参加できない場合は、必ず事務局に申し出ること。



14. ウォーミングアップラップスタート方法

- (1) 2分前エンジン始動（正規の位置後方よりエンジンをかけ、正規の位置に待機）
- (2) オフィシャルの振動するグリーンフラッグでスタートし、1周してグリッドに整列する。

15. 決勝レース

- (1) 決勝レースのグリッド配列は3・3・3・3……の階段式とする。
- (2) スタート手順
 - ① Aゲートよりマシンを押してコースインし、各自指定のグリッドに整列する。
 - ② グリッド上でタイヤウォーマーの使用およびタイヤウォーマー用にジェネレーターの使用が認められる。マシン1台につきハンディタイプのジェネレーター1台迄可能とし、車両の後方に置いて使用すること。また、水温上昇防止及び体調管理（熱中症予防）を目的とした、扇風機（サーキュレーター）の持込も可能とする。但し、スタート進行遅延の原因となる場合は、規則を変更する場合も有る。
 - ③ ウォームアップ「3分前」のボードが提示される前に、全ての作業・調整（タイヤウォーマーの取り外し含）を終了しなければならない。
 - ④ ボードの合図でエンジン始動、ウォーミングアップラップ開始。
 - ⑤ 再び各自指定のグリッドに整列（エンジンは始動したまま）。
 - ⑥ 全車グリッドに整列後、フラッグタワーよりシグナルの合図にてスタート。
 ※ピットクルーは、エンジン始動後すみやかに自分のピットに戻ることに。
 ※スタートでエンジンストールした場合、全車スタートし安全確認後、オフィシャルのみが再スタートの補助を行う。ピットクルーの補助は禁止する。
 ※その他、正常にスタートができない場合には、随時オフィシャルの指示に従い行動すること。
- (3) タイムが甚だしく劣る者は黒旗でピットインさせる場合があるので、提示された場合には速やかにオフィシャルの指示に従うこと。

16. 競技周回数

クラス	周回数	完走周回数	成立周回数
全クラス	10L	7L	6L

17. ジャンプスタートの罰則について

- (1) ライドスルーペナルティー
 - ① 当該ライダーに「RIDE THROUGH」の文字の下に車両ナンバーを付した一体型ボードと黒旗を同時にコントロールラインで提示する。また、ピット側にもこれを提示しピット通告とする。
 ※RIDE THROUGHボードと黒旗の同時提示は、筑波サーキットでのみ行なわれる表示方法である。
 - ② 当該ライダーは、レース中ピットレーンを通過するよう指示される。途中、停止することは認められない。
 - ③ ボードが提示されてから3周以内にピットインせず、ペナルティを実行しない場合、当該ライダーは失格となる。
- (2) 競技結果への30秒の加算。
- (3) ペナルティボードは5.5Pでも提示される。

18. 違反行為に対する罰則について

- (1) MFJ国内競技規則に準ずる。
- (2) パーツの落下やオイル漏れが、他車の転倒の要因を作ったと認められる場合、当該選手に罰則を科す場合がある。

19. 車両保管

各レース終了後に、各クラス正式賞典対象順位まで車検場にて車両保管を行う。暫定表彰式後に、オフィシャルの指示に従ってマシンを移動すること。尚、車両の盗難防止の為、車両保管解除後のマシン返却の際、ライダーのMFJライセンスまたは運転免許証等の身分証明が可能なものを必ず持参すること。

20. 暫定表彰式

(1) 各レース終了後、コース上メインスタンド前にて行う。但し、スケジュールの都合によりパドック等で行う場合がある。

クラス	表彰順位	クラス	表彰順位
NT2	1～6位	NM	1～3位
N250F	1位	Frontier2	1～6位
NB	1～3位	Battle Of The Twins (ACT)	1～3位
NT1	1位	Battle Of The Twins (WCT)	1～3位
NS2	1～6位	Multi Import (MIP)	1位
TN2	1位	KTM390CUP (CUSTOM)	1～3位
NS1	1位	KTM390CUP (STOCK)	1位
MS1	—	KTM250CUP (CUSTOM)	—
TN1	1位		

(2) ノンアルコールシャンペンを使用するが、少量のアルコール（0.49%）が含まれているので、未成年及びレース後に運転する場合は飲まないこと。

21. 賞典

決勝正式結果発表後、下記のライダーに正賞の楯を授与する。

クラス	表彰順位	クラス	表彰順位
NT2	1～5位	NM	—
N250F	1位	Frontier2	—
NB	1・2位	Battle Of The Twins	ACT
NT1	1・2位	Battle Of The Twins	WCT
NS2	1～3位	Multi Import (MIP)	—
TN2	1位		CUSTOM
NS1	1・2位	KTM390CUP	—
MS1	—		STOCK
TN1	1位	KTM250CUP	CUSTOM

全レース終了後の正式表彰式は行いません。賞品は決勝正式結果発表後にサービスセンターにてお渡しいたします。MFJライセンスもしくは当人であることが証明できるもの（運転免許証等）を必ずご持参ください。受け渡しは大会終了時までとし、終了後は受け取りを拒否したものとみなします。

22. 医療施設の利用義務

(1) 負傷した場合は最初に施設の医務室で診断を受けること。**医務室に診断記録がないと保険がおりない場合がある。**

(2) 指定病院： 八千代病院 〒300-3551 茨城県結城郡八千代町栗山238 Tel:0296-48-1181

23. Aパドック内フリースペースについて

Aパドック内で有料スペース以外にテントを設置することができるエリアは別紙の通りとし、指定された区画以外を使用することはできない。

お知らせ① パドック間のコース横断・往来について

パドック間でコース往来ができるようにいたします。これは、Bパドックおよびメインスタンド裏の利便性を高めるために行います。下記の部分を横断できるよう各走行のインターバル時に開放する予定です。横断する場合は係員の指示に従うようお願いいたします。

1. Bパドック（1ヘアピン側ゲート）⇔ Aパドック（ドライバースタイルゲート）

2. メインスタンド側駐車場（P4）⇔ Aパドック（ガソリンスタンド脇）

※2について P4はエントラント駐車場ではございませんので主に一般のご来場者様へのサービスとなります。

お知らせ② 特別に許可した場合を除き、筑波サーキット内へのドローン（無人飛行機）の操縦・飛行等は禁止です。

お知らせ③ コース内でスタート練習が可能なタイミングは、特別スポーツ走行日に定められたスタート練習時間帯または予選終了後（チェッカー後）のバックストレート右側のみで行うことができます。同時にスタート練習できる台数は2台までとし、後続車両など周囲の状況に十分注意の上、各自の責任において行うこと。

※別紙、「必ずお読みください」にコース上スタート練習の手順を記載しております。予選終了後、コース上でスタート練習を行う際は、スタート練習手順を必ずご確認の上行ってください。

お知らせ④ Aパドック内ガソリン給油所 営業時間 7月19日（金）7:00～16:30 / 7月20日（土）6:30～16:00

本通知に記載のない事項は、MFJ国内競技規則および2019筑波ツーリスト・トロフィー特別規則書に準ずる。



2019筑波ツーリスト・トロフィー
大会事務局長 渡邊 徳仁